

令和2年度 京築地区中学校陸上競技大会要項

- 1 大会名 第58回京築地区中学校陸上競技大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟 京築地区各市町（学校組合）教育委員会
共催 福岡県教育委員会
- 3 期日 令和2年8月1日（土）
学校受付8：00 役員集合8：30 監督者会議8：40
開始式9：00 競技開始9：30
雨天の場合 陸上競技場にて6：00 会長、地区理事長、地区専門部長で判断し、各学校に連絡する。
- 4 会場 豊津陸上競技場
- 5 参加制限 (1) 1校1種目2名以内、一人2種目以内。ただしリレーは兼ねても良い。リレーでの1人2種目出場、同一種目での共通と低学年への出場は認めない。
(2) リレーは学校単位とし、1チーム6名以内とする。ただし、低学年リレーの補欠の学年枠はなしとする。
(3) 審判は、参加校から必ず2名以上出し、審判を確保できない学校の参加は原則的に認められない。
(4) 3年生に関しては、6. の正式種目に登録されていない選手は、1種目に限りオープン参加することができる。リレーの補欠については、正式種目に出場しない3年生に限り、オープン参加を認める。

6 種目

共 通 種 目					
男子	200m	400m	800m	3000m	110mH
	400mR	走幅跳	走高跳	砲丸投(5kg)	
女子	200m	1500m	100mH		
	400mR	走幅跳	走高跳	砲丸投(2.72kg)	
低 学 年 種 目 (1、2年生の種目)					
男子	100mH	400mR (2・1・1・2年の順)			
女子	80mH	400mR (2・1・1・2年の順)			
学年種目	男子	1年100m	2年100m	3年100m	
		1年1500m	2年1500m	3年1500m 3年三段跳	
	女子	1年100m	2年100m	3年100m	
		1年800m	2年800m	3年800m	
奨励種目	男子	棒高跳			

- 7 競技方法 (1) 学校対抗および個人競技を並行して行う。
(2) 得点は決勝6位まで、1位6点、2位5点とし、以下1点を減じ6位を1点とする。
奨励種目は得点にはならない。
- 8 競技規則 (1) 日本陸上競技連盟規則、福岡県中学校体育連盟申し合わせ事項ならびに本大会実施規則を適応する。
(2) 大会参加に際して引率・監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。

*実施規則

①走高跳、棒高跳のバーのあげかた

走高跳 男子：130、135、140、… 165、170 以降3cmずつ

女子：110、115、120、125、130 以降3cmずつ

棒高跳 当日打ち合わせ

- ②異議申し立て及び抗議は、そのラウンド終了またはアナウンス後直ちに各郡市専門部長を通じて審判長に申し出ること。
- ③招集について、トラック競技は競技開始30分～15分を前まで、フィールド競技は50分～30分前までに受け、（招集所において自分の名前に○をつける。）5分前にスタート地点・ピットで点呼を受けること。招集を受けていない選手の出場は、理由のいかんに関わらず認めない。リレーのオーダー用紙は、競技開始1時間前までに招集所に提出すること。ただし、招集は改めて30分～15分前までに受けること。
- ④トラック種目とフィールド種目が重なった場合は、トラック種目を優先させるが、フィールド審判員に連絡してトラック種目に出場すること。トラック種目終了後、直ちにフィールド種目に戻ってくること。ただし、フィールド競技はその選手を待つことはない。
- ⑤すべてタイムレース決勝で行う。
- ⑥ナンバーカード番号は、陸協指定のものを使用するか、学校番号をB5の大きさの白布に男子は黒、女子は赤で書き、胸背部に縫いつけるか、安全ピンで止めること。（数字の大きさは1.5cm以上）また、同一種目に同じ学校から2名出場する場合は、違うナンバーを使用すること。

種 類	第1ハードルまで	インターバル	高 さ	個数	ゴールまで
男子110mH	13.72m	9.14m	91.4cm	10個	14.02m
女子100mH	13.0m	8.0m	76.2cm	10個	15.0m
低男100mH	13.0m	8.5m	84.0cm	10個	10.5m
低女 80mH	12.0m	7.5m	76.2cm	8個	15.5m

⑦ハードルの設定のしかた

⑧開会式、閉会式は行わない。

令和2年度京築地区中学校(陸上競技)大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
 - 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後1ヶ月間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりする
 - 体調がよくない場合(発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 大会4日前までに発熱があった生徒は、当日熱がなくても、大会への参加を辞退させる
- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 競技場内の更衣室の使用は禁止する
 - 各学校の待機スペースは必ず2m以上離れるように指示をする
 - 各学校の待機スペース内での「密」をなるべく避けるようにすること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル、使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理(適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること)
 - 保護者の参加人数については、原則3年生の人数(各家庭1名)とし、各校で準備した「〇〇中保護者」と記載した吊り下げの名札を身につけた者に限ること。ただし、3年生の保護者が少数であるなど、緊急時の対応等に不安がある場合は学校長の判断で必要最低限の1、2年生保護者の入場を認める。

- 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
- 声を出しての応援、集団での応援は禁止、また、タイム読みも禁止とする。手拍子での応援は可。応援者同士の距離を2mほどあける。
- 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場**
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄**
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
 - ゴミ箱は設置しない
- 参加者が競技を行う際の留意事項**
 - ウォーミングアップは競技者のみで行う。(付き添いはつけない)
 - 招集所では他の選手とは距離をとり、招集を受けること
 - 競技中につばやたんを吐く行為は行わないこと
 - タオルの共用はしないこと
- 審判員の心がけること**
 - 体調管理チェック表(大会前)を受付時に提出すること
 - 使用した用器具の消毒は審判員が必ず行うこと
 - 競技参加者の注意事項等を遵守させること
 - 競技役員はマスクを着用し業務にあたること。また、水分補給をこまめに行い、熱中症に注意すること。
- 大会終了後の留意事項**
 - 競技終了後のすべての箇所(机、いす、ドアノブ、トイレなど)を消毒する